



# tv asahi

## 第72期 中間報告書

平成23年4月1日 ▶ 平成23年9月30日



## ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。ここに第72期の中間報告書をお届けいたします。

第72期より、新たな3ヶ年計画「デジタル5ビジョン〈経営計画2011-2013〉」がスタートいたしました。当計画の中で、当社グループは、3ヶ年に注力する5つの戦略目標を掲げております。

- ▶ 2013年度中に世帯視聴率で「プライム・プライム2 1位」 「全日帯 トップグループ」
- ▶ 広告収入の最大限拡大と広告の「新ビジネススキーム」構築
- ▶ コンテンツ展開の推進、新規ビジネスの開拓による広告外収益の拡大
- ▶ グループ経営の効率化と競争力の強化
- ▶ 活力あるテレビ朝日グループを創る人事・企業風土の改革

まず、視聴率に関する戦略目標の実現に向け、当中間期におきましては着実に前進いたしました。

既存のバラエティー番組の貢献や魅力的なレギュラードラマの投入などにより、当社のプライムタイムの視聴率は1位局との差が4月～9月としては開局以来最小タイを記録しました。また9月には、開局以来6回目、今年2回目の月間プライムトップを獲得しました。

全日帯では、ベルト番組が視聴率を伸ばしたことで、特に夕方の「スーパーJチャンネル」が民放同時時間帯トップを記録したことなどにより、上位局との差を狭めることに成功いたしました。

相対的に低い番組制作費でこうした成果を得られたことは、当社の制作現場が極めて高いクリエイティビティを有しているからこそと自負しております。

広告収入でも、当中間期におきましては、高視聴率番組の単価上昇などにより、レギュラーベースのタイム収入が増収となりました。またスポット収入も地区シェアを伸ばすことができました。

今後も安定的に高い視聴率を背景に、広告収入のさらなる拡大を実現してまいります。

また広告外収益の拡大に向けても歩を進めております。

当社の有料動画配信サイト「テレ朝動画」の収入は前年同期に比べて2倍に成長しました。また、人気バラエティー番組「ロンドンハーツ」のネットオリジナル番組を「テレ朝動画」と大手動画サイト上で無料配信しました結果、累計再生回数が1ヶ月弱で1,000万回を超えました。今後は広告モデルも視野に入れ、さらなる収益拡大を目指してまいります。

朝日新聞社、KDDIとの協業による携帯電話向け総合情報配信サービス「ニュースEX」も、収益に大きく貢献しております。

今後も全社一丸となって経営計画の達成に向けて邁進し、株主価値の一層の向上を目指して努力してまいります。株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年12月



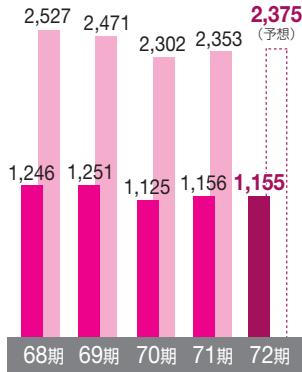
代表取締役社長

早河 祥

売上高

(単位: 億円)

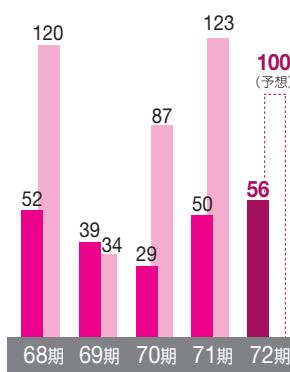
■第2四半期(累計) ■通期



経常利益

(単位: 億円)

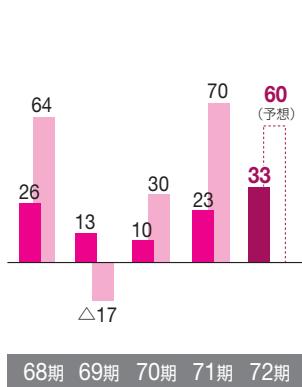
■第2四半期(累計) ■通期



四半期(当期)純利益

(単位: 億円)

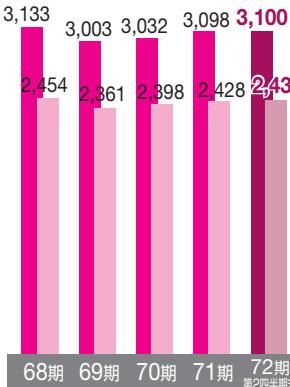
■第2四半期(累計) ■通期



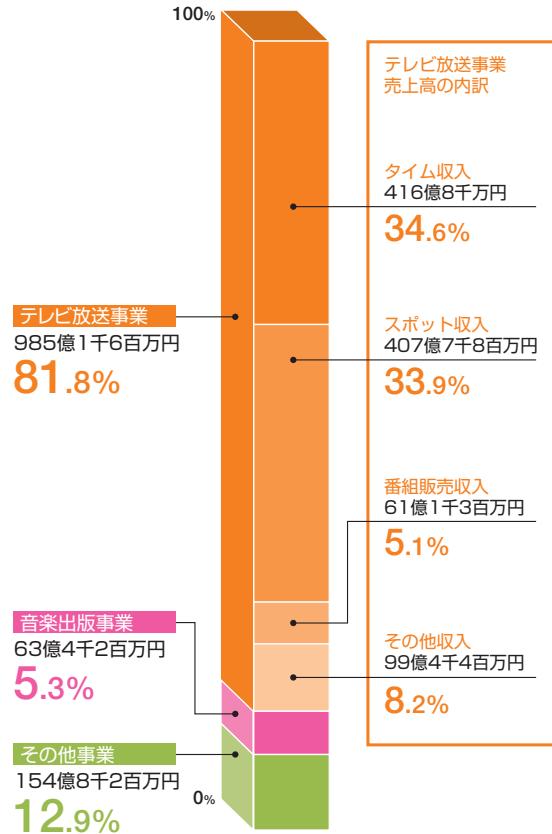
総資産/純資産

(単位: 億円)

■総資産 ■純資産



事業別売上高構成比



(注) 事業別売上高・構成比はセグメント間調整前のものです。

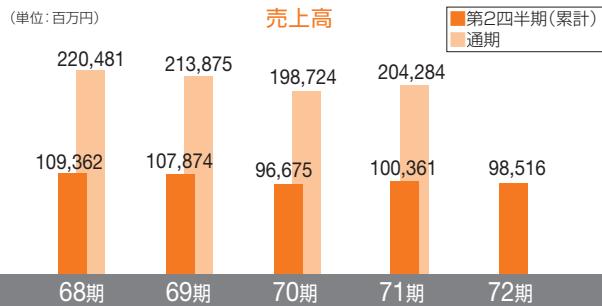


## テレビ放送事業

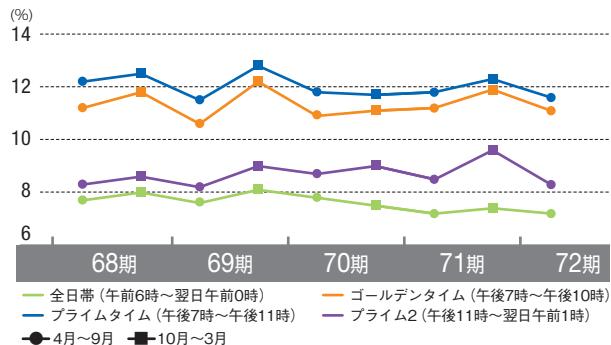
売上高 98,516百万円  
(前年同期比△1.8%)

営業利益 2,269百万円  
(前年同期比+5.6%)

81.8% (売上高構成比)



## テレビ朝日の時間帯別視聴率の推移(半期毎)



※ 視聴率データは、いずれもビデオリサーチ調べ

## 編成コンセプトと成果

第72期は、「デジタル5ビジョン<経営計画2011-2013>」の初年度として、プライムタイムと全日帯のさらなる競争力強化に注力しております。

4月～9月の平均視聴率は、全日帯(午前6時～翌日午前0時)7.2%、プライムタイム(午後7時～午後11時)11.6%、ゴールデンタイム(午後7時～午後10時)11.1%、プライム2(午後11時～翌日午前1時)8.3%となりました。プライムタイムは1位局との差が4月～9月としては開局以来最小タイを記録し、全日帯も上位2局との差が縮まりました。また9月には開局以来6回目、2011年としては2回目の月間プライムトップを獲得しました。

バラエティーでは、「クイズプレゼンバラエティーQさま!!!」(月曜夜8時)、「ロンドンハーツ」(火曜夜9時)、「もしものシミュレーションバラエティー お試しっ!」(月曜夜7時)などが高い視聴率を記録しました。夜11時台のネオバラエティー枠も引き続き

若い世代の高い支持を得ております。

ドラマでは、3シーズン目を迎えた「新・警視庁捜査一課9係」が平均視聴率15.8%と歴代最高を更新しました。また「遺留捜査」、木曜ミステリー「京都地検の女」、木曜ドラマ「陽はまた昇る」などのレギュラードラマも高い評価を得ました。ドラマスペシャルでは、二夜連続の松本清張ドラマスペシャル「砂の器」が高い視聴率を獲得しました。

スポーツでは、「世界水泳上海2011」、プロ野球「マツダオールスターゲーム2011」「キリンカップサッカー2011 日本×ペルー」など注目の熱戦を放送いたしました。

報道番組では、「報道ステーション」をはじめ各ベルト番組が引き続き厚い信頼を得ております。「スーパーJチャンネル」が4月～9月の平均視聴率で初めて民放同時間帯トップを獲得するなど、全日帯の底上げに貢献しました。



「クイズプレゼンバラエティーQさま!!!」



「新・警視庁捜査一課9係」



「世界水泳上海2011」



「スーパーJチャンネル」

(単位：百万円)

	71期 第2四半期(累計)	72期 第2四半期(累計)	前年同期比			
売上高	100,361	98,516	△	1,845	△	1.8%
● タイム収入	42,607	41,680	△	926	△	2.2%
● スポット収入	42,043	40,778	△	1,265	△	3.0%
番組販売収入	6,074	6,113		38	+	0.6%
その他収入	9,636	9,944		308	+	3.2%
営業利益	2,148	2,269		120	+	5.6%

### タイム収入

4月改編において、以前よりアドバイザーの関心が高かった「もしものシミュレーションバラエティー お試しっ!」をネットタイムセールスに変更し増収を達成しました。さらに「クイズプレゼンバラエティーQさま!!」「そうだったのか! 学べるニュース」など視聴率が好調なレギュラー番組の単価上昇を図りました。単発番組につきましても、「世界水泳上海2011」や「砂の器」など大型コンテンツを編成することで増収を図りました。しかし前年同期の「2010FIFAワールドカップ南アフリカ」の反動減などにより、タイム収入合計は減収となりました。

### スポット収入

東日本大震災の影響を受けて当初は低迷しましたが、6月以降は需要が回復しました。業種別では、「卸売」「家庭用品」「精密・事務機器」など16業種中8業種で前年同期を上回りましたが、「輸送機器」「電気機器」「食品・飲料」などが低調でした。以上の結果、スポット収入合計は減収となりました。

## 音楽出版事業

売上高 6,342百万円  
(前年同期比+74.7%)

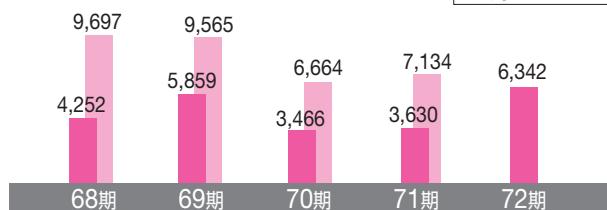
営業利益 994百万円  
(前年同期比+124.7%)

5.3% (売上高構成比)

(単位：百万円)

売上高

■ 第2四半期(累計)  
■ 通期



(単位：百万円)

	71期 第2四半期(累計)	72期 第2四半期(累計)	前年同期比	
売上高	3,630	6,342	2,712	+ 74.7%
営業利益	442	994	551	+ 124.7%

テレビ朝日ミュージックの専属アーティストが精力的に活動しております。“ケツメイシ”“湘南乃風”の全国各地でのコンサートツアーやグッズ販売が大きく貢献したほか、音楽著作権の管理事業などが好調に推移しました。この結果、



ケツメイシ「KTM TOUR 2011」

音楽出版事業は大幅な増収増益となりました。



## その他事業

売上高 15,482百万円  
(前年同期比△3.3%)

営業利益 971百万円  
(前年同期比△20.6%)

12.9% (売上高構成比)

(単位：百万円)



(単位：百万円)

	71期 第2四半期(累計)	72期 第2四半期(累計)	前年同期比	
売上高	16,012	15,482	△530	△ 3.3%
営業利益	1,224	971	△252	△20.6%

### ■ 出資映画事業

「仮面ライダー・戦隊」「ドラえもん」「クレヨンしんちゃん」のシリーズ作品などが好調だったため、前年同期に公開された「劇場版TRICK 霊能力者バトルロイヤル」の反動減があったにもかかわらず、堅調に推移しました。

### ■ イベント事業

前年同期の「ボストン美術館展」の反動減などがあったものの、今期初めて手掛けた当社主催の音楽祭「テレアサ★ドリームフェス2011」や夏恒例の「SUMMER SONIC 2011」



劇場版「オーズ・ゴウ・カイジャー」製作委員会  
©石森プロ・テレビ朝日・ADK・東映  
©石森プロ・テレビ朝日・東映AG・東映



「テレアサ★ドリームフェス2011」



「テレ朝動画」



「ちい散歩」

などが好評を博し、前年同期並みの収入を確保できました。

### ■ DVD化事業

前年同期の「関パニ」「テレシネマ7」「SMAPがんばりますっ!! 2010 10時間超完全版」の反動減があったものの、「アメトーク!」「相棒 - 劇場版II -」「バーテンダー」などが好調に推移しました。

### ■ ショッピング事業

当期からショッピング事業を連結子会社のロッピングライフに完全に移管し、将来の収益拡大に向けた体制を整えました。しかし東日本大震災などの影響により定番商品の販売が不振だったことに加え、新たなヒット商品の発掘にいたらず、大幅な減収となりました。

### ■ インターネット事業

「テレ朝コンプリート!」などフィーチャーフォン向けの会員制有料情報サービスが苦戦したものの、朝日新聞社、KDDIとの協業による携帯電話向け総合情報配信サービス「ニュースEX」が大きく収益に貢献したほか、有料動画配信サイト「テレ朝動画」などが順調に成長しました。

### ■ CS事業

CS放送「テレ朝チャンネル」の加入者数は9月末時点で414万世帯に増加しました。

四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、百万円未満切捨)

科 目	当第2四半期末	前第2四半期末	前期末
	平成23年9月30日現在	平成22年9月30日現在	平成23年3月31日現在
<b>(資産の部)</b>			
流動資産	146,501	134,339	144,944
固定資産	163,528	163,671	164,927
有形固定資産	70,582	72,799	71,796
無形固定資産	6,420	6,491	6,947
投資その他の資産	86,525	84,379	86,184
資産合計	310,030	298,010	309,871
<b>(負債の部)</b>			
流動負債	50,772	44,486	51,584
固定負債	15,266	15,303	15,423
負債合計	66,038	59,790	67,008
<b>(純資産の部)</b>			
株主資本	240,693	235,717	239,401
資本金	36,642	36,642	36,642
資本剰余金	55,342	55,342	55,342
利益剰余金	149,029	144,052	147,737
自己株式	△ 321	△ 321	△ 321
その他の包括利益累計額	△ 1,420	△ 2,734	△ 1,144
その他有価証券評価差額金	△ 1,057	△ 2,594	△ 995
繰延ヘッジ損益	△ 189	4	22
為替換算調整勘定	△ 174	△ 144	△ 170
少数株主持分	4,719	5,237	4,605
純資産合計	243,991	238,220	242,863
負債純資産合計	310,030	298,010	309,871

四半期連結損益計算書

(単位：百万円、百万円未満切捨)

科 目	当第2四半期(累計)	前第2四半期(累計)	前期
	自平成23年4月 1日 至平成23年9月30日	自平成22年4月 1日 至平成22年9月30日	自平成22年4月 1日 至平成23年3月31日
売上高	115,555	115,694	235,398
売上原価	84,719	84,667	170,291
売上総利益	30,835	31,026	65,106
販売費及び一般管理費	26,638	27,226	55,254
営業利益	4,197	3,799	9,851
営業外収益	1,626	1,346	2,914
営業外費用	177	132	394
経常利益	5,646	5,013	12,371
特別損失	45	671	559
税金等調整前四半期(当期)純利益	5,600	4,342	11,811
法人税等	2,158	1,863	4,662
少数株主損益調整前四半期(当期)純利益	3,442	2,478	7,148
少数株主利益	138	156	135
四半期(当期)純利益	3,303	2,322	7,013

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円、百万円未満切捨)

科 目	当第2四半期(累計)	前第2四半期(累計)	前期
	自平成23年4月 1日 至平成23年9月30日	自平成22年4月 1日 至平成22年9月30日	自平成22年4月 1日 至平成23年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,213	9,459	22,341
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,536	△ 18,228	△ 21,212
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,112	△ 1,101	△ 2,249
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 2	△ 11	△ 34
現金及び現金同等物の増減額(△減少)	3,635	△ 9,882	△ 1,155
現金及び現金同等物の期首残高	56,202	57,357	57,357
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	59,838	47,475	56,202

テレビ朝日の財務情報は、  
ホームページでもご覧いただけます。

テレビ朝日 IR

検索

<http://company.tv-asahi.co.jp/contents/IR/index.html>



## 会社の概要

商号 株式会社 テレビ朝日 (TV Asahi Corporation)  
 設立 昭和32年11月1日  
 放送開始 昭和34年2月1日  
 資本金 366億4,280万円  
 本店所在地 〒106-8001 東京都港区六本木六丁目9番1号  
 従業員数 1,216名  
 当社の事業所等 本社(東京都) アーク放送センター(東京都)  
 送信所・中継局(東京都ほか):BS(コロンブス)(東京都)  
 EX六本木ビル(東京都)

## 役員

取締役会長	君和田正夫	取締役	角南 源五
代表取締役社長	早河 洋	取締役	藤ノ木正哉
専務取締役	神山 郁雄	取締役	平城 隆司
専務取締役	久保田 泉	取締役	秋山耿太郎
常務取締役	高野 圭司	取締役	荒木 高伸
常務取締役	北澤 晴樹	取締役	岡田 剛
取締役	大塚 隆廣	取締役	北島 義俊
取締役	金澤 一	取締役	武内 健二
取締役	亀山 慶二	取締役	渡辺 克信
常勤監査役	有倉 幸生	監査役	奥村萬壽雄
常勤監査役	浅野 正夫	監査役	小林 孝一
監査役	荻谷 忠男		

(注) 1. 取締役秋山耿太郎、荒木高伸、岡田 剛、北島義俊、武内健二および渡辺克信の各氏は、社外取締役です。

2. 監査役荻谷忠男、奥村萬壽雄および小林孝一の各氏は、社外監査役です。

## 株主様向け「テレビショッピング販売商品」特別優待価格でのご提供のご案内

テレビ朝日グループで通販事業を担当する(株)ロッキングライフ(旧(株)テレビ朝日リビング)の商品の中から、株主様を対象に、厳選いたしました商品を特別優待価格でご提供しております。

同封のパンフレットに記載の専用ホームページもご覧いただき、ご希望の商品がございましたら、パンフレットおよび専用ホームページ記載の「株主様専用のご注文フリーコール」にお電話ください。

\*ホームページでは、パンフレット掲載商品の内容をさらに詳しくご紹介しております。ホームページの商品説明を印刷して、お手紙にお送りすることもできますので、下記お問合せ専用フリーダイヤルにお気軽に電話ください。

### お問合せ先

株式会社テレビ朝日 株主様へ優待

お問合せ専用フリーダイヤル **0120-532-510** 10時～18時 日曜・祝日・12/31～1/3を除く

## 株式状況

発行可能株式総数 3,000,000株  
 発行済株式の総数 1,006,000株  
 株主数 32,567名

### 大株主(上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社朝日新聞社	248,649	24.72
東映株式会社	161,842	16.09
公益財団法人雪香美術館	50,300	5.00
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 大日本印刷口再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	40,300	4.01
九州朝日放送株式会社	32,147	3.20
株式会社リクルート	21,000	2.09
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	20,350	2.02
公益財団法人朝日新聞文化財団	20,120	2.00
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE SILCHESTER INTERNATIONAL INVESTORS INTERNATIONAL VALUE EQUITY TRUST	19,326	1.92
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	17,854	1.77

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	
定時株主総会	毎年6月開催	
基準日	定時株主総会	毎年3月31日
	期末配当	毎年3月31日
	中間配当	毎年9月30日
	そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日	
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	大阪府中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社 *株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関である住友信託銀行株式会社は、平成24年4月1日付で商号を「三井住友信託銀行株式会社」に変更する予定です。 *郵便物送付先の住所および電話番号先の電話番号に変更はございません。	
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都中央区八重洲二丁目3番1号 住友信託銀行株式会社 証券代行部	
(郵便物送付先)	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部	
(電話照会先)	☎0120-176-417	
(ホームページURL)	<a href="http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html">http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html</a>	

当社のホームページに掲載いたします。  
<http://company.tv-asahi.co.jp/>  
 ただし、ホームページに掲載できない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、東京都において発行する朝日新聞に掲載いたします。

上場取引所 東京証券取引所  
 当社の定款には次の規定があります。  
 定款第8条

本会社は、次の各号のいずれかに掲げる者から、その氏名および住所等を株主名簿に記載または記録することの請求を受けた場合において、その請求に応ずることにより、次の各号に掲げる者の有する議決権の総数が、総株主の議決権の5分の1以上を占めることとなるときは、その氏名および住所等を株主名簿に記載または記録することを拒むものとする。

1. 日本の国籍を有しない人
2. 外国政府またはその代表者
3. 外国の法人または団体
4. 上記1.ないし3.の各号に掲げる者により直接に占められる議決権の割合が総務省令で定める割合以上である法人または団体

②本会社は、法令の定めに従い、前項各号に掲げる者が有する株式について、株主名簿への記載もしくは記録の制限または議決権の制限を行うことができるものとする。



環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用しています。